

## 平成30年度第1回福岡県福岡・糸島区域地域医療構想調整会議 議事概要

### 1 会議の開催日時及び場所

日時：平成30年8月10日（金）19時00分～20時30分

場所：福岡市医師会8階 講堂

### 2 出席委員

別紙委員名簿のとおり（出席者：出席委員25名、欠席0名）

### 3 議事概要

#### （1）地域医療構想の推進に係る今後の進め方について

以下の配布資料に基づき事務局から説明を行った。委員から福岡県の地域医療構想の進捗状況は全国的に見て進んでいることから、じっくり議論をしていてもいいのではないかとの意見が出された。事務局から急ぐ必要はないが、今後の方向性を検討している民間病院もいることから、まずは公的医療機関等2025プランの未協議を協議していき、随時、病床機能分化連携推進部会等を開催していきたいと回答を行った。

資料1 地域医療構想の今後の進め方について

参考資料4 平成30年度調整会議・医療計画部会開催スケジュールについて

#### （2）調整会議における「協議への参加を求める場合」の運用について

以下の配布資料に基づき事務局から説明を行った。委員から調整会議における「協議への参加を求める場合」の運用は厚生労働省の通知等に基づいたものなのかとの意見が出された。事務局から調整会議における協議への参加を求める場合の基準は県独自のものと回答を行った。

資料2-1 地域医療構想調整会議における「協議への参加を求める場合」の運用について（改正案）

資料2-2 地域医療構想調整会議における「協議への参加を求める場合」の基準（新旧対照表）

#### （3）これまでの取組状況について（公的医療機関等2025プランの処理状況等）

以下の配布資料に基づき事務局から説明を行った。委員から特段の意見は出なかった。

資料3 これまでの取組状況について（公的医療機関等2025プランの処理状況等）

#### （4）平成30年度財政支援について（回復期病床、介護医療院等への転換）

以下の配布資料に基づき事務局から説明を行った。委員から転換の補助金がいつまであるのか、また、補助金に係る周知は検討されているのかとの意見が出された。事務局から介護療養病床の期限が平成35年度までになるため、介護療養病床から介護医療院等への転換については期限があるが、その他の補助金については、今のところ期限等は考えていないと回答し、補助金に係る周知に関しては、今回の医療機関に対する調査の中で、補助金の活用予定の有無についても回答を求めていることから、補助金を活用したいと考える医療機関に対しては、県から連絡を行うと回答を行った。

また、委員から介護医療院は病床を持った医療機関と混在して設置することは可能かとの意見が出された。事務局から混在は可能と思われるが、施設基準等に関わる話のため管轄の福岡市にご相談いただきたいと回答を行った。

資料４－１ 回復期病床への機能転換に伴う財政支援について

資料４－２ 療養病床から介護医療院等への転換に伴う財政支援について

#### （５）平成２９年度病床機能報告について

以下の配布資料に基づき事務局から説明を行った。委員から特段の意見は出なかった。

資料５－１ 平成２９年度病床機能報告について

資料５－２ 現在の病床数と必要病床数の推計値の比較

資料５－３ 病床機能報告 Ｈ２８・Ｈ２９比較表（医療機関別）

資料５－４ 平成２９年度病床機能報告（病院\_\_病棟票）

資料５－５ 平成２９年度病床機能報告（有床診療所\_\_施設票）

資料５－６ 一般病床・療養病床で算定する入院基本料・特定入院料および届出病床数

資料５－７ 病床機能報告における医療機能選択の考え方について

#### ＜以下、個別医療機関に関する事項のため非公開＞

---

#### （６）その他

委員から①公私の医療機関の役割分担ができているのか②公的医療機関の果たすべき政策医療を明らかにされたのか③休棟を有する医療機関の議論はされたのか④地域医療支援病院が新たに地域包括ケア病床に転換する場合の地域における医療連携は担保されているのかと４つの意見が出された。事務局から休棟を有する医療機関については、今回初めて調査を行ったところであるが、休棟を有する医療機関に関する意見や、地域医療支援病院等の公的病院の役割等については、地域医療構想調整会議の中で議論をしていただく必要があると回答を行った。

また、事務局から今後の病床の転換や休棟の取扱いなどについて、病床機能分化連携推進部会等で議論していただきたいとの説明を行った。

以上